

藍住町 議会だより

第80号

平成27年2月25日

発行 藍住町議会

編集 議会だより編集委員会

徳島県板野郡藍住町奥野

字矢上前 52-1

TEL (088)637-3127

FAX (088)637-3156

<http://www.town.aizumi.tokushima.jp>



式人成

目次

12月定例会

平成26年度一般会計・特別会計補正予算	P. 4
町からの主な報告	P. 5
一般質問～町政のここが聞きたい～	P. 6～10
議員研修報告	P. 11
わたしの一言・議会のうでき	P. 12



12月議会定例会が12月8日から18日までの11日間の会期で開会され、次の議案について審議しました。

一般質問では5人の議員が登壇し、町政について質問しました。

12月定例会

～町長提案～

- 平成26年度藍住町一般会計補正予算について ……………原案可決
- 平成26年度藍住町特別会計（国民健康保険事業）補正予算について ……………原案可決
- 平成26年度藍住町特別会計（介護保険事業）補正予算について ……………原案可決
- 藍住町国民健康保険条例の一部改正について ……………原案可決
健康保険法施行令の改正に伴い、出産一時金条例を一部改正
- 藍住町災害対策本部条例の一部改正について ……………原案可決
災害対策基本法の改正に伴い、災害対策基本法を準用している条項番号の一部改正
- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について ……………原案可決
- 教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について ……………原案可決
- 塵芥収集車の購入契約の締結について ……………原案可決
- 公共下水道(A7-2期) 南部幹線管渠工事請負契約の変更請負契約の締結について ……………原案可決

～議員提案～

- 藍住町議会だより編集委員会委員の選任について ……………奥村晴明
- (仮称) 藍住町文化ホール・公共施設複合化事業特別委員会の設置に関する決議について……………原案可決
- 「手話言語法(仮称)」の早期制定を求める意見書 ……………原案可決
提出者 西川良夫議員
提出先 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・厚生労働大臣

平成26年 第3回臨時会

11月28日開催の臨時会において次の2議案が上程され、原案のとおり可決した。

- 平成26年度藍住町一般会計補正予算について ……………原案可決
- 職員の給与に関する条例の一部改正について ……………原案可決
人事院勧告及び徳島県人事委員会勧告に準じ、給料表については約0.2%、勤勉手当については年間支給月数を0.15%引き上げる改正

請願

4件の請願があり、2件が採択となりました。

● 公共施設等へのLPガス設備の導入に関する請願書

.....採 択

請願者 徳島県エルピーガス協会 板野地区会 地区長 石川 速

紹介議員 東條 義和 議員、奥村 晴明 議員
※なお、町に要望書を提出しました。

● 地方自治法第99条の規定により国の関係機関に「国民健康保険の広域化に反対し、国庫負担の復元を求める意見書」の提出を求める請願

.....不採 択

請願者 徳島県社会保障推進協議会 会長 井上 尚
紹介議員 林 茂 議員

● 国による乳幼児医療費無料制度の創設を求める意見書及び国民健康保険療養費国庫負担金の調整廃止を求める意見書に関する請願書

.....不採 択

請願者 徳島県社会保障推進協議会 会長 井上 尚
紹介議員 林 茂 議員

● 「手話言語法(仮称)」の制定を求める請願書

.....採 択

請願者 聴覚障害者制度改革推進徳島本部

紹介議員 西川 良夫 議員 本部長 平 光江

※なお、この請願を意見書として提出することを議決しました。

陳情

8件の陳情があり、議員に配付しました。

▼ 消費税増税の撤回を求める意見書提出を求める陳情

陳情者 消費税の廃止を求める徳島県各界連絡会 代表 山根 憲一

▼ 最低保障年金の実現にむけた検討をはじめよう国に求める「意見書」の採択をお願いする陳情

陳情者 徳島県社会保障推進協議会 会長 井上 尚

▼ さらなる年金削減の仕組み「マクロ経済スライド」の廃止を国に求める「意見書」の採択をお願いする陳情

陳情者 徳島県社会保障推進協議会 会長 井上 尚

▼ 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情書

陳情者 徳島県社会保障推進協議会 会長 井上 尚

▼ 介護従事者の処遇改善を求める陳情書

陳情者 徳島県社会保障推進協議会 会長 井上 尚

▼ 電気設備工事・管設備工事の分離発注推進のお願い

陳情者 一般社団法人 徳島県設備業協会 会長 栗本 利幸

▼ 「集団的自衛権行使容認」の閣議決定の撤回を求める意見書の提出を求める陳情

陳情者 「戦争をさせない1000人委員会」 徳島 代表者 大西 聡

▼ じん肺・アスベスト被害根絶を求める陳情書

陳情者 なくせじん肺全国キャラバン徳島実行委員会 代表 山本 正美

平成26年度一般会計補正予算

第3回 臨時会

歳入歳出
それぞれ

1,400万円増額

予算
総額

98億7,700万円

～主な補正の内容（1万円未満切捨て）～

総務費

◆ 衆議院議員総選挙費

1,400万円

12月 定例会

歳入歳出
それぞれ

1億2,100万円増額

予算
総額

99億9,800万円

～主な補正の内容（1万円未満切捨て）～

民生費

◆ 民間施設認可保育所移行補助金
1,600万円

衛生費

◆ がん検診等委託料 300万円
◆ 子どもはぐくみ医療福祉費 700万円
◆ ごみ袋製造費 400万円
◆ 西クリーンステーション管理費
（バグフィルター補修工事費） 420万円

農林水産費

◆ 農地防災事業費負担金 900万円

教育費

◆ 東中学校体育館屋根ふき替え工事 3,220万円
◆ 藍住中学校調理室食器洗浄機買換え 567万円

平成26年度特別会計補正予算

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
国民健康保険事業	32億5,500万円	6,000万円	33億1,500万円
介護保険事業	21億6,800万円	8,800万円	22億5,600万円

～欠員中の議会だより編集委員会副委員長に奥村晴明議員が選任されました～

～(仮称)藍住町文化ホール・
公共施設複合化事業特別委員会
が設置されました～

●(仮称)藍住町文化ホール・公共施設複合化事業特別委員会
委員長 森 志郎 副委員長 江西 博文
濱 眞吉／東條 義和／古川 義夫
小川 幸英／林 茂／永濱 茂樹
小堀 克夫

総体質問

問 下水道事業の南部幹線管渠工事が1か月遅れるということだが、東部幹線管渠工事も遅れるのではないのか。1か月遅れた処理はどのようにするのか。

答 遅れたところは工期を調整しながらしているが、現在、東部幹線管渠工事は工期どおりの進捗状況であり、工事が遅れることはない。

下水道推進管布設工事状況



町からの主な報告

（仮称） 藍住町文化ホール・ 公共施設複合化事業

設計等業務委託先が決定し、今後は各種団体、関係機関、関連する専門知識を持たれている方などの意見を聞きながら、構想を形あるものに作り上げていきたい。

【第5次 藍住町総合計画】

平成28年度から10年間を計画期間とする「第5次藍住町総合計画」の策定に着手。町民の方の意見を聞くため、町民アンケートを実施する。
12月に、20歳以上の住民の方を対象に無作為抽出調査を予定。また、1月には全世帯調査と中学2年生全員の調査を実施し、計画案の策定をしたい。

藍住町マスコット キャラクター

「あいのすけ」と決定

60周年記念式典でマスコットキャラクターをお披露目予定。

藍住町民の先頭に立ち、藍住町をPRしてくれることを期待している。



保育事業

平成27年度から新たに藍住あおば保育園を認可保育所とすることで調整を行っている。認可されれば0歳児から3歳児まで60名を受け入れ予定。

運営に要する費用の一部を補助することにより、保育サービスの供給を増やし、待機児童の解消を図るとともに、子供を安心して育てることができるような体制整備を行う。

町民体育館大会行事

1月10日（土）に、藍住町出身の松友美佐紀選手（日本ユニシス所属）を招き、「バドミントンエキシビジョンマッチ」を開催。

「正貴寺跡」国史跡指定へ
昨年1月に国史跡への意見書を提出しており、10月6日付けで勝瑞城館跡として国史跡に追加指定された。今後は、発掘調査を進め、この重要な遺跡を保存するとともに、土地の有効な活用についても計画したい。



子供たちに指導する松友美佐紀選手

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。議会や町政に関する御意見をお寄せください。

投稿規定

- ①住所・氏名・電話番号を明記。
- ②掲載時に匿名を希望する方は申し出てください。
- ③字数は500字以内。
- ④投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。

定例会案内

次の定例会は3月です。
次号は5月に発行します。

本会議を傍聴しませんか

詳しくは議会事務局まで
お問い合わせ ● 議会事務局 637-3127

町政のここが聞きたい

一般質問

下水道事業継続の財源はあるのか

財政担当課と協議しながら下水道整備を図っていききたい

- 問** ①下水道の第1期と同時期の合併浄化槽設置への公費負担額と設置件数を比較し、費用対効果を明らかにすること。
- 答** ①下水道接続基数が406基、1件当たりの費用は約580万円、合併浄化槽設置件数が1798
- ②下水道施設を利用し、収集したし尿を流入して処理をすべきでないか。
- ③町民会館などの建て替えに34億円も必要。現在、町の起債が約82億円、元金返済と利子の負担が年間8億7600万円。下水道事業を継続できる財源はあるのか、合併浄化槽設置型に切り替えると財政節約になる。合併浄化槽設置に補助金を増やすこと。また、県にも補助金を要求すべきでないか。



林 茂 議員



下水道管開削工事状況

件、1件当たりの費用は約30万円。

②し尿投入にかかる基礎調査業務を発注し、し尿等の受入れ基準、投入可能量の検討を行っている。

③現在、県の補助金は単独浄化槽から合併浄化槽に替える工事のみに出ている。5人槽で29万4000円、7人槽で34万2000円、10人槽で43万2000円。新設補助についても、補助が出るように要望していきたい。

太陽光発電普及計画は

国や電力会社等の動向を見ながら検討したい

- 問** ④四国の再生エネルギーは、買取制度導入後、急増し伊方原発1基分に相当する出力となっている。太陽光発電の設置を町独自の支援制度を作り、勧めること。以前行った議会質問後、具体化は。
- 答** 経済産業省は、固定価格買取制度の見直しを検討しており、一般住宅の太陽光発電の補助については、国や電力会社等の動向を見ながら検討したい。

その他の質問

◎国民健康保険について

千間堀の改修計画は

更なる検討を行いたい

- 問** 共産党の住民アンケートでは「大雨や台風の度にあふれて家から出られないほどに水がすごい。田んぼを埋めて宅地が増える度に水の行き場が少なくなっている。通学路でもあり排水処理が悪く通行止めになっている。」「と多くの苦情が寄せられている。
- 千間堀改修計画の答弁があったが、その進捗状況は。



冠水した千間堀の様子

答 抜本的解決方法とはならないが、少しでも流れを早くするための浚渫及び河畔に生い茂って流れを阻害している樹木等の伐採を行う予定。

町政のここが聞きたい

一般質問



町民体育館に設置されている
ハンドドライヤー

役場・庁舎内のトイレに ハンドドライヤー設置について

設置に向け検討していく

- 問** 来年4月には町制施行60周年事業の記念式典が挙行されるなど、県内外から来庁者もたくさん来られます。このような行政の事業を迎えるの施策として、トイレにハンドドライヤーの設置を提案するものであります。
- 答** 現在、本庁舎では設置をしてないが、近年いろいろな施設で設置がされており、設置に向け検討していきたい。
- 今日この医療機関、商業施設でも、ハンドドライヤーの設置は常識化されており、町民への心遣い、思いやり、高齢者、障がい者への気配りであり、インフルエンザ等に備えての安全対策、一番身近な町民へのサービス精神であり、衛生面、環境面の対策として、早期設置を。



問 設置場所については、役場敷地内に多く、町内の公共施設、各幼稚園、小学校の校門に数本ずつと、町内の各地区、地域の危険箇所は何本か立てて、子供や高齢者、障がい者などを自動車事故から守るための施策を講じていただきたい。

答 設置用ののぼりやポール、それを立てる台となるポールスタンド等を購入したいと考えている。設置場所については、啓発の効果の高い場所となるが、通行の妨げや見通しが悪くならないよう、また強風で折れたり倒れたりすることのないよう、設置場所を決めていきたい。

交通安全運動の推進として、 春・秋・年末年始の期間中の、 のぼり旗設置について

本年度中に啓発資材等を購入したい



永瀆 茂樹 議員

その他の質問

独居老人の安心・安全対策見直しについて

多くの方々の協力をいただきながら、
見守りネットワークづくりを進めていきたい

	奥野地区	東中富地区	徳命地区	富吉地区	東部地区	中部地区	西部地区
ひとり暮らし高齢者	60人	53人	49人	37人	91人	83人	70人
民生・児童委員	7人	5人	5人	5人	8人	9人	8人

問 現在、町内に独居老人、民生委員、地区別に何人いるのか。割り振りについて尋ねたい。

答 別表参照。

◎町民体育館トレーニング室等の利用状況と指導対策について

町政のここが聞きたい

一般質問

認知症対策について

地域に即した独自の施策を展開

問

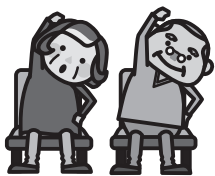
認知症患者が鉄道事故に巻き込まれる例は最近8年間で149件発生している。被害者のうち115人が死亡し、鉄道事業者は賠償請求した例が多くみられています。また警察庁によると搜索願が出る人は年間約1万人、所在が確認できない人は約130人に上ります。更に悪徳商法や金融関連の被害例もあります。安倍首相は東京都内での国際会議で、新たな認知症対策の国家戦略を策定すると表明しました。「政策を加速させ、厚生労働省だけでなく、政府一丸となって、認知症患者の生活全体を支える」と述べました。担当課長に質問します。藍住町を認知症患者に、やさしい安心して暮らせる町にするためにどのような対策をしているのか尋ねます。

答

認知症の予防には、有酸素運動、知的活動の習慣化、社会参加によるコミュニケーションなどが効果的であると言われていることから、元気になれる運動教室、脳力アップ教室、脳の健康教室などの介護予防教

室を開催している。更に、老人憩いの家でのいきいきサロンや老人会、地区協などの地域活動への参加も勧めている。また、地域包括支援センターを中心に、認知症に関する相談、予防、受診等、介護についてのアドバイスを行っており、介護者の方と相談しながら必要なサービスが受けられるように支援をしている。

介護サービスを受けるだけでは十分でなく地域での見守りが重要であるため、認知症サポーター養成講座も開催している。



濱 眞吉 議員

小中学校の学級編成

35人学級は維持してもらえよう、粘り強く働きかける

問

小中学校の学級について政府の方針が示された。公立小学校の1年生で導入している35人学級を見直し、1学級40人体制に戻す案を財務省が示したことに對し、徳島県内の教育現場からは、きめ細やかな教育の推進に逆行する。と異論が出ています。県は国に先行し、小学校全学年と中学1年で35人を導入しています。教育長に質問します。政府の方針を受け、学級編成をどのようにされるのか尋ねます。

答

徳島県教育委員会に確認したところ、国の施策いかにかわらず、従来方針を今後とも継続していきたいと希望しているとのことであった。藍住町教育委員会としても、国並びに県の35人学級制度の継続を強く希望していく。



「小学校の授業風景」(藍住南小学校)



町政のここが聞きたい

一般質問

子供・子育て支援について

更に広報活動に努めたい

- 問** ①国の保育制度を改革する子供・子育て支援制度が来年度から実施される。新制度は多様な保育サービスを増やすだけでなく様々な子育て支援も拡充するため、全ての子育て世帯に影響が及ぶ。住民への周知などが課題になっているが、どのように周知していくか。
- 答** ②政府が待機児童解消の目標年度とした受皿が5万人分不足する見通しであるが、本町では本年0歳児から2歳児において待機児童は何人いるか。取組によっては来年度の待機児童は全面解消できるか。
- 答** ①従来からもホームページ等でお知らせしているが、更に広報活動に努めたい。
- ②12月現在の待機児童数は0歳児27人、1・2歳児10人。
- 待機児童の解消は、平成29年まで3年かけて解消を図っていく計画であるが、平成27年度からは認可保育所を新たに増やし、既存の認可保育所の0歳児の定員を増やすことで対応したい。

問 国の農政大改革に対する取組と農業6次産業化に向けた対応については、地域ブランドの創出、地域営農や新規就農者の育成、消費者ニーズに対応した野菜産地の活性化、農業の6次産業化への取組や生産者と消費者間の情報交流、食育に関する定期的なイベント等に取り組んでいくのか。また、その一つとして本町に道の駅を誘致して農家の収入増を計ってはどうか。

農業振興について 県や町商工会と協同して 支援をしていく



小川 幸英 議員

答 6次産業化に興味のある農業者の方を対象に、県や町商工会、金融機関等の関係機関から講師を招き6次産業についてのノウハウや、支援内容等、知識の習得について定期的に研修会を開催している。

また、道の駅設置は用地取得、施設整備等、運営に多額の費用を要するため、現状では考えていない。



問 幼児教育や学校における食育の推進は必要と思うがどのように取り組んでいるか。また子供の野菜嫌いをなくし野菜摂取増への取組は小学校ではどのようにしているか。

答 幼稚園では、園庭で野菜を栽培し、収穫したものを家庭に持ち帰って試食することで食べ物への興味や関心を高める活動をしている。また、小学校2年生では夏野菜、冬野菜を栽培し、自分が育てた野菜を食べることで野菜嫌いを克服できるように働きかけ、

食育教育について

家庭と連携して
取り組むように努める

5・6年の家庭科でも野菜の栄養や働きを学習して、嫌いな野菜でも食べられるような指導を行っている。



育てた野菜で調理する児童
(藍住東小学校)

その他の質問

- ◎防災対策について
- ◎千鳥橋から奥野橋間の北岸歩道について

町政のここが聞きたい

一般質問

インフルエンザワクチンについて

接種率は約40%

問 今年インフルエンザの流行が例年より早くその猛威に備えてワクチン接種を奨励する報道がされている。乳幼児や高齢者の方にとっては不安な季節になっていると思うが、昨年のワクチン接種の実績を尋ねたい。厚生労働省では毎年副反応のデータを公表しているが本町では、これまでワクチン接種による副反応の報告はあるのか。また、ワクチン接種前に健康状態や丁寧な説明が求められているが医療機関等での対応を尋ねたい。

答 町が把握できるのは、65歳以上の方の定期接種であるが、平成25年度9月末の実績は、対象者数6495人、接種した人数2617人。また、本町の定期接種による副反応の報告はない。

医療機関では、効果や副反応及び、重篤な副反応が生じた場合の予防接種健康被害救済制度の説明を十分行い、署名をもらっている。



藍住町総合施設整備事業について

町議会、各種団体、専門的な知識をお持ちの方などに意見を聞き、基本設計に反映させていきたい



西川 良夫 議員

問 34億円の予算で進められている事業計画について住民に求めたパブリックコメントでは、施設の必要性の有無や、将来的な観点から経費のかからないように、また、各地域の公共施設は縮小傾向にあり町民が理解できるようにしていただきたい。など、現在提示されたプランにこだわることなくコメントの意見が十分反映されるように柔軟性のある対応が求められている。その観点から緑の広場等活用されている施設は残して必要最小限の整備にすべきではないか。若者や高齢者のふれあいの場、憩いの場となるよう住民の意見を最優先に考え各種関係団体との意見交換も活発になるよう期待している。

答 いずれの施設も社会状況の変化から必要機能や利用形態が変わってきていること、また、施設の老朽化が進行していることから、近い将来、個別に建て替えをするよりも、各施設のこれからの必要機能を合わせた複合施設とすることが、長期的に見れば、経費の削減と効率化につながるものと考えている。若者に定住してもらえまちづくりと

ともに、多くの高齢者の方々が余暇を充実して過ごせるまちづくりが必要と考え、施設の管理体制、文化ホールなどの具体的な事業展開についての計画を策定していきたい。事務準備が整い次第、町議会、各種団体、関係者、専門的な知識をお持ちの方などに意見を聞き、基本設計に反映させたいと考えている。



(仮称)藍住町文化ホール・公共施設複合化事業の計画区域

視察研修報告

茨城県つくば市みずほの村市場と

群馬県佐波郡玉村町を視察し

議会議長 佐野 慶一

11月25日から27日まで、議員ほか町長、事務局長の15名により、茨城県つくば市みずほの村市場と群馬県佐波郡玉村町への視察研修を実施した。

みずほの村市場は、売上

高は約7億円の直売所で、一農家当たりの売上は日本一高い。「適地適作の原点に戻るべきである。重視すべきは、規模より収益である。」としている。藍住町の農業が、みずほの村市場が提唱する農業にすべて当てはまるものではない。しかし、年々厳しさを増している農家の経営について、生産面で農業者が需要に見合う生産をするにはどうしたらよいか、農業者がすべきこと、行政がすべきことは何か、検討していく必要がある。

玉村町は、群馬県南部に位置し、藍住町とは類似団

体である。文化センターと乗合タクシーについて、視察研修を行った。文化センターは、平成5年に開館し、文化振興財団が管理している。設計構想段階で住民の意見を反映するため

の進行により、移動手段がない住民の増加は予想される。導入を計画するのであれば、デマンド方式（利用者の要求に対応して運行する方式）を検討してみてもどうかと思われる。

に、建設委員会を設置し、調査研究を行っている。藍住町議会では、こうしたことを踏まえ、（仮称）藍住町文化ホール・公共施設複合化事業特別委員会を設置した。乗合タクシーは、バス路線のない地域では、自家用車を持たない人は移動手段がなく、公共交通への要望により導入された。運行方式は、バス会社と契約し、運行費を補助するものである。藍住町でも、高齢化



玉村町での研修

市町村議会議員特別セミナーに参加

11月17日から18日に市町村議会議員特別セミナーが国際文化アカデミー（滋賀県）で開催され、本町議会からは2名が参加した。

議会議長 西川 良夫
議会議員 奥村 晴明

佐賀県武雄市、樋渡市長の講演に驚嘆

講演に驚嘆

形式や儀礼は住民にとって不必要、会議を最小限にし、恒例行事も必要性のないものは廃止、常に周りからの反発があるが住民の満足を基本としている。ツイッターやフェイスブックを活用した情報発信は大成功。全国から視察が殺到、自治体と「異業種と組む」ことを積極的に推進してきた。図書館は「TSUTAYA」に運営委託し、年間100万人にも及ぶ集客となっている。本年4月には公教育と学習塾による「官民一体型」小学校の開講を発表。議会では常に大激論、視聴率50%を超えていると力説。これからの時代「稼ぐ自治体」を実感した。

（西川 良夫）



今回の特別セミナーには、元官房長官の武村正義氏や武雄市の樋渡市長の講演があったことから、全国から定員を超す議員が参加してありました。内容的には、急激な人口減少社会に対応し、地方自治の展望を開くセミナーとして計画されておりましたので、私にとりまして有意義な研修となりました。

の講話など、大局にたった講義で、地方にとって、いかに個性的な地方になるかどうか問われていると述べられたことが心に強く残りました。

住民が政治や自治に対する関心が薄くなる現状がある中で、議会が首長を監視できているかどうか、議員が研鑽を積み、しっかりと議論していかなければならないと感じました。

特に、武村氏の講演は、日本人の歴史認識について（奥村 晴明）

わたしの一言

住吉神蔵 キム 金 ドンギョ 東主さん

私は家内との結婚がきっかけで、平成22年11月から藍住で生活をしています。実は藍住には平成8年に、初めての日本旅行として来たことがあります。きれいな青空、とても鮮やかな山の緑、吉野川を通る度にさわやかな風が吹き、夕焼けはまるで水彩画のようでした。18年たった今も忘れません。

夜になると毎年、お盆に開催される阿波おどりを練習する音楽が聞こえて、都会のスモッグと灰色のビルで囲まれて育った私にとっては、とても印象的でした。当時、まだ日本語をしゃべれませんでした。旅行の間、出会った方々はみんな親切で積極的に声をかけてくださったので、とてもうれしかったです。そして、近所の人を大事にする様子や相手に気を配る様子を見て、ここで住んでみたいと思いました。

私から見た藍住は昔も今も変わっていません。これからも、良いところをなくさないでほしいと思います。



中富団地から観た藍住町内

議会のうごき

11月

- 1日 福祉・健康づくりの町フェスティバル
- 2日 藍ラフフェスティバル
- 4日 議会だより編集委員会
- 7日 四国地区町村議会議長会研修会（高知県）
- 11日 藍住町戦没者追悼式
- 12日 町村議会議長会全国大会（東京都）
- 13～14日 議長研修（埼玉県・茨城県）
- 17～18日 市町村議会議員特別セミナー（滋賀県）
- 20日 板野郡町議会議長会定例会
- 21日 議会全員協議会
- 25～27日 議員視察研修（茨城県みずほの市・群馬県玉村町）
- 28日 平成26年第3回臨時議会
議会全員協議会
議会運営委員会

12月

- 4日 藍翠苑祭
- 8日 12月議会定例会開会
- 11日 子ども・子育て会議
- 16日 12月議会定例会一般質問
- 18日 12月議会定例会閉会
（仮称）藍住町文化ホール・公共施設複合化特別委員会
- 24日 板野西部青少年補導センター組合議会定例会（板野町）
- 8日 鳴門市正副議長就任挨拶来庁
- 10日 板野東部消防組合消防出初め式（北島町）
- 11日 藍住町成人式
- 22日 板野郡町議会事務局職員研修会（上板町）

1月



菜の花

編集後記

平成26年は災害続きた。2月に関東甲信を襲った大雪被害にはじまり、各地に水害をもたらした台風、多数の死者が出た広島島の土砂災害と、立て続けに自然災害が発生している。東日本大震災後によく言われたが、災害列島に住む以上、日頃から防災意識を持って生活することが大事になる。

東日本大震災からもうすぐ4年が経過するが、防災への意識が薄れているのではないだろうか。災害が起きてからでは遅い。一人一人が、自らの身を災害から守るため非常時の備えは万全か見直し、防災意識を持って生活することが大事である。

（古川 義夫）

議会だより編集委員会

委員長 濱 眞 吉
副委員長 奥 晴 明
委員 西 川 良 夫
委員 古 川 義 夫
委員 永 濱 茂 樹